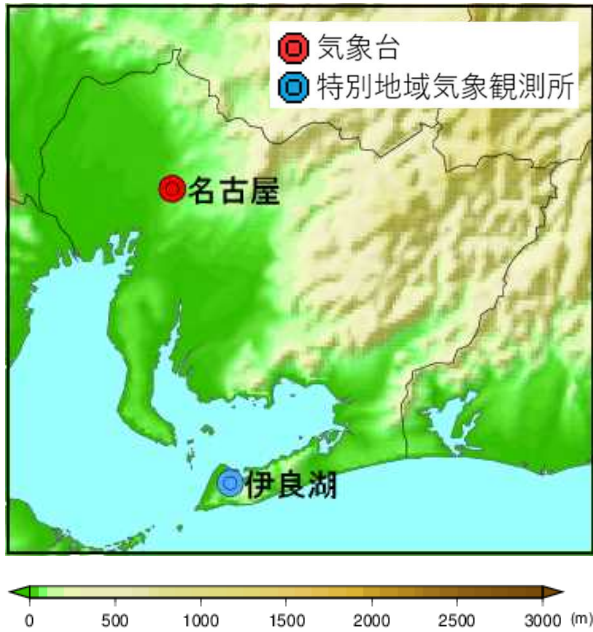


愛知県



愛知県の地勢

愛知県は、日本列島のほぼ中央に位置し、古来の尾張と三河とを合わせた地域で、南は太平洋に面し、西は三重県、北は岐阜県、北東は長野県、東は静岡県と接している。県土は東西約 106km、南北約 94km、総面積は 5,172km²(全国第 27 位)で国土の約 1.4%を占める。

西部は、木曾三川(木曾川、^{ながらがわ}長良川、^{いびがわ}揖斐川)と庄内川によって作られた全国第 2 位の広さを持つ濃尾平野とその東側の尾張丘陵及びそれから連なる知多半島からなる。南部から南東部は^{やはぎがわ}矢作川によって作られた岡崎平野、豊川によって作られた豊橋平野および渥美半島からなる。

北部から北東部は長野県から木曾山脈が南に延びて三河高原を形成し、茶臼山(標高 1,415m)を主峰とする山岳地帯で、標高 1,000m を超える山も少なくない。

渥美半島と知多半島の間には三河湾、また、知多半島と三重県の志摩半島の間には、北に向かって伊勢湾が深く入り込んでいるため、海岸線は長く 596km に達する。

愛知県の気候

愛知県の気候は、太平洋岸気候区に分類される。暖候期は高温・多雨で、寒候期は小雨・乾燥の特



徴がある。渥美半島と知多半島の南部は、本州の南岸を流れる黒潮の影響を受け、四季を通じて温和な気候である。一方、三河の山間部は、昼夜の気温差や夏と冬の気温差が大きく、特に冬は厳しい冷え込みとなる。

県の南側は、太平洋に面しているため、低気圧の通過時には、南海上から暖かく湿った気流が入りやすく、梅雨期や台風が接近・通過する時には、風上斜面に沿う強制上昇気流が地形性降雨を強め、特に山間部の南斜面を中心に大雨になりやすい。

尾張地方は、日本海まで比較的距離も短く、冬季は関ヶ原などの山あいを通る季節風による降雪がしばしばみられ、積雪となることもある。県内で積雪となるのは、日本付近に強い寒気が南下して、季節風が強まる場合がほとんどで、南岸低気圧による積雪もあるが回数は多くない。また、県の北から北東にかけては、日本の屋根といわれる中部山岳が連なっているため、愛知県では北東の風が吹きにくく、冬は北西風が卓越し、夏は南東風が卓越する特徴がある。

地形データには USGS (アメリカ地質調査所) の GTOPO30 を利用した。